

2021年3月期 第1四半期決算説明資料

証券コード：5332

2020. 07.31

目次

1. 2021年3月期 第1四半期決算

2. 2021年3月期 第2四半期累計見通し

ハイライト

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減収減益

グローバル住設事業（日本）：減収赤字

- ◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済活動が制限され、ショールームの臨時閉鎖等により減収赤字。

グローバル住設事業（海外）：減収減益 * 1月~3月（インド除く）

- ◆中国・アジアは減収減益。
- ◆米州はウォシュレット需要急増等で増収増益。

新領域事業：増収黒字化

- ◆セラミック事業は半導体市場の需要増により増収黒字化。

2021年3月期 第1四半期決算

P/L概要

単位：億円

	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 (前年比)
売上高	1,361	1,181	▲180 (▲13%)	▲190	+10 (+1%)	▲174 (▲13%)
営業利益 【営業利益率】	54 【4.0%】	22 【1.8%】	▲32 (▲60%)	▲48	+16 (+29%)	▲32 (▲59%)
経常利益	55	21	▲34 (▲62%)	▲51	+17 (+31%)	▲36 (▲66%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32	6	▲26 (▲83%)	▲46	+20 (+62%)	▲28 (▲89%)

■為替レート

	2019年度 1Q	2020年度 1Q
1ドル	110.2円	108.9円
1元	16.3円	15.6円
1ユーロ	125.2円	120.1円

2021年3月期 第1四半期決算

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 (前年比)
住設事業 (日本)	1,000	865	▲136 (▲14%)	▲131	▲5 (▲0%)	▲136 (▲14%)
住設事業 (海外)	298	252	▲46 (▲16%)	▲57	+11 (+4%)	▲41 (▲14%)
新領域	61	64	+2 (+3%)	▲2	+4 (+6%)	+2 (+4%)
その他	1	1	▲0	-	▲0	▲0
合計	1,361	1,181	▲180 (▲13%)	▲190	+10 (+1%)	▲174 (▲13%)

<営業利益>	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 (前年比)
住設事業 (日本)	33	▲0	▲34	▲36	+2 (+7%)	▲34
住設事業 (海外)	34	27	▲7 (▲20%)	▲12	+5 (+14%)	▲6 (▲19%)
新領域	▲5	0	+5	▲1	+6	+5
その他	▲8	▲5	+3	-	+3	+3
合計	54	22	▲32 (▲60%)	▲48	+16 (+29%)	▲32 (▲59%)

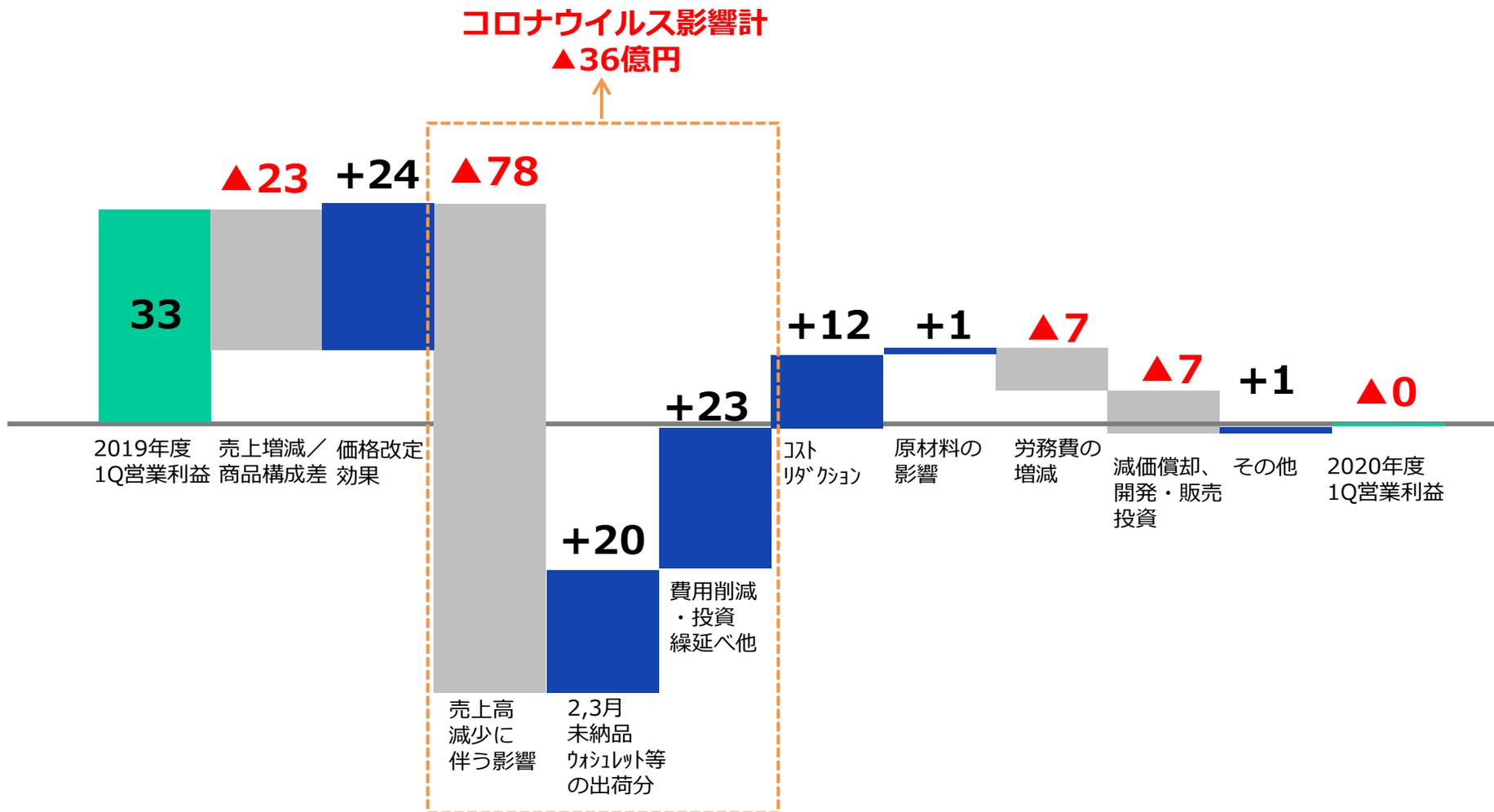
日本は減収赤字、海外は減収減益、新領域は増収黒字化。
新型コロナウイルス感染症の影響は売上高▲190億円、営業利益▲48億円

2021年3月期 第1四半期決算

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異▲34億円の内訳）

単位：億円



2021年3月期 第1四半期決算

グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	687	562	▲125 (▲18%)	▲105	▲19 (▲3%)
営業利益	30	▲5	▲34	▲28	▲6 (▲21%)
営業利益率	4%	-	-	-	-

<新築>

	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	314	303	▲11 (▲3%)	▲26	+15 (+5%)
営業利益	4	4	+0 (+9%)	▲8	+8 約3倍
営業利益率	1%	1%	+0pt	-	-

リモデルは住宅リモデルの大幅減により減収赤字、
新築は減収も高付加価値商品の伸長により営業利益横ばい。

2021年3月期 第1四半期決算

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

<売上高>	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
衛生陶器	200	186	▲14 (▲7%)	▲16	+2 (+1%)
ウォシュレット	212	218	+6 (+3%)	0	+6 (+3%)
水栓機器	211	168	▲43 (▲21%)	▲37	▲7 (▲3%)
浴室	255	190	▲65 (▲25%)	▲58	▲7 (▲3%)
キッチン・洗面	107	88	▲20 (▲18%)	▲19	▲1 (▲1%)
その他	15	15	▲0 (▲1%)	▲2	+2 (+12%)
合計	1,000	865	▲136 (▲14%)	▲131	▲5 (▲0%)

<営業利益>	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
衛生陶器	5	▲4	▲10	▲11	+1
ウォシュレット	17	24	+7	3	+4
水栓機器	10	▲1	▲10	▲8	▲2
浴室	6	▲10	▲17	▲13	▲4
キッチン・洗面	▲0	▲7	▲7	▲6	▲1
その他	▲5	▲2	+3	▲1	+4
合計	33	▲0	▲34	▲36	+2

ウォシュレットは2月、3月で出荷できなかった受注分を1Qで出荷したため、増収増益。

2021年3月期 第1四半期決算

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	140	90	▲50 (▲36%)	▲48	▲2 (▲2%)	▲46 (▲33%)
アジア	70	59	▲10 (▲15%)	▲9	▲2 (▲3%)	▲11 (▲15%)
米州	78	92	+13 (+17%)	-	+13 (+17%)	+14 (+19%)
欧州	10	11	+1 (+8%)	▲0	+1 (+12%)	+1 (+12%)
合計	298	252	▲46 (▲16%)	▲57	+11 (+4%)	▲41 (▲14%)
営業利益	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	22	13	▲9 (▲40%)	▲6	▲2 (▲11%)	▲8 (▲37%)
アジア	12	9	▲3 (▲23%)	▲5	+2 (+17%)	▲3 (▲25%)
米州	2	6	+4 約3倍	-	+4 約3倍	+4 約3倍
欧州	▲2	▲2	+1	▲0	+1	+1
合計	34	27	▲7 (▲20%)	▲12	+5 (+14%)	▲6 (▲19%)

グローバル住設事業（海外）で減収減益

2021年3月期 第1四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）（1月～3月）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万元

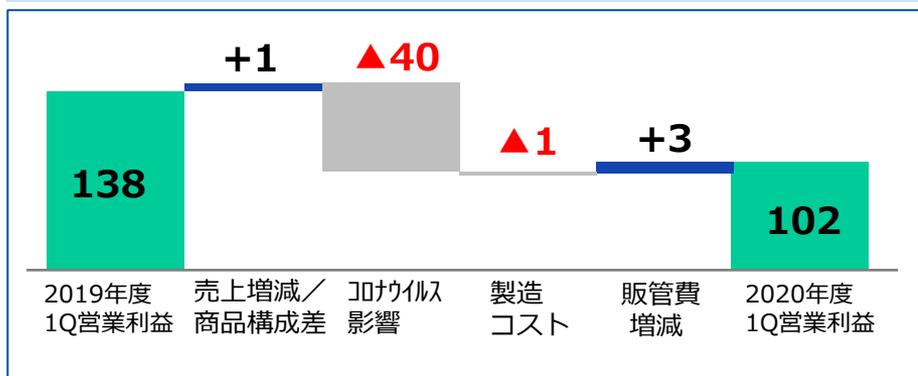
	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	852	573	▲279 (▲33%)	▲294	+15 (+2%)
営業利益	138	102	▲36 (▲26%)	▲40	+4 (+3%)
営業利益率	16%	18%	+2pt	-	+0pt

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は前年同期比+1%。
6月に入り、新型コロナウイルス感染症拡大後、初めて前年を上回った。

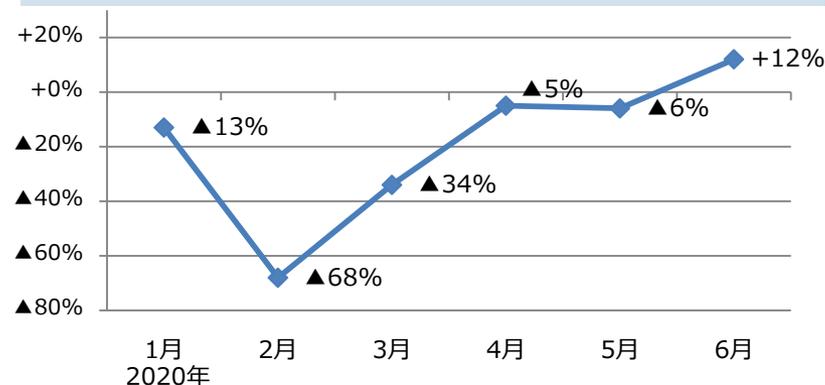
為替レート	2019年度 1Q	2020年 1Q
1元	16.3円	15.6円

営業利益の増減要因

単位：百万元



売上高推移（前年比）



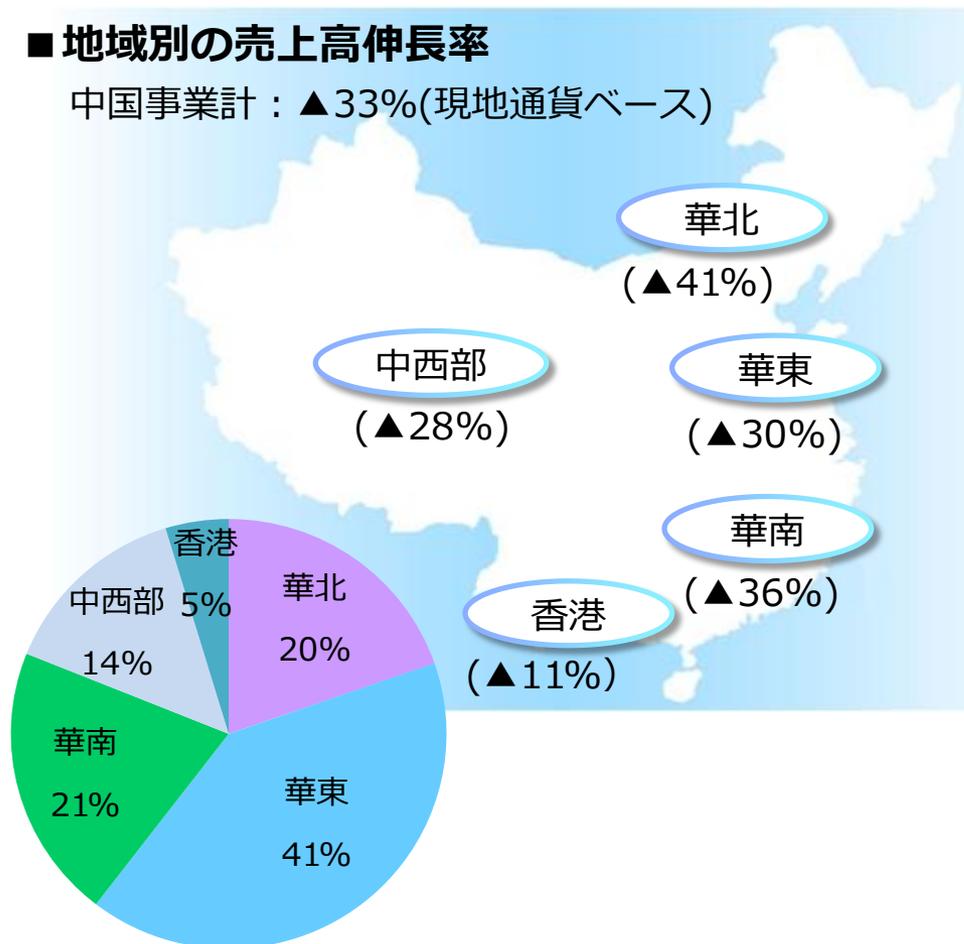
新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、大幅減収減益。

2021年3月期 第1四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）（1月～3月）

■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：▲33%(現地通貨ベース)

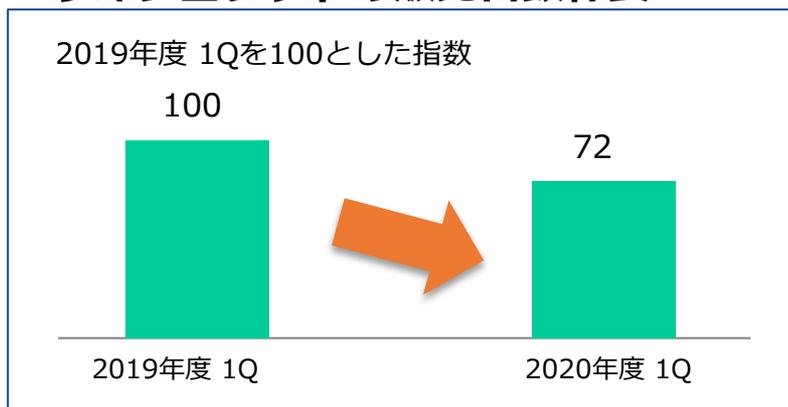


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	▲44% (コロナ影響除く：+1%)
ウォシュレット	▲16% (コロナ影響除く：+2%)
水栓金具	▲30% (コロナ影響除く：+2%)

■ ウォシュレットの販売台数伸長



・ 2Q (4月～6月) は+6%

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全てのエリア、全商品で減収。

2021年3月期 第1四半期決算

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）（1月～3月）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

売上高
エリア別内訳

台湾	ベトナム	その他
57%	22%	21%

単位：百万台湾ドル

台湾	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	942	941	▲1 (▲0%)	-	▲1 (▲0%)
営業利益	248	253	+4 (+2%)	-	+4 (+2%)
営業利益率	26%	27%	+0pt	-	+0pt

■ウォシュレット販売台数の伸長

2019年度 1Qを100とした指数



・2Q（4月～6月）は+29%

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は、前年同期比+16%

単位：10億ドン

ベトナム	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高 <small>【外部顧客売上高】</small>	707 【306】	905 【277】	(+28%) (▲10%)	▲41 【▲41】	(+34%) (+4%)
営業利益	88	81	▲7 (▲8%)	▲23	+16 (+18%)
営業利益率	12%	9%	▲3pt	-	▲1pt

第2四半期(4月～6月)の外部顧客売上高伸長率は前年同期比▲8%

為替レート	2019年度 1Q	2020年度 1Q
1台湾ドル	3.57円	3.62円

為替レート	2019年度 1Q	2020年度 1Q
1ドン	0.00474円	0.00469円

台湾は新型コロナウイルス感染症の影響は少なく前年並み。ベトナムの外部顧客売上高は新型コロナウイルス感染症の影響による市況悪化で減収減益も、その影響を除くと増収増益。

2021年3月期 第1四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）（1月～3月）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ドル

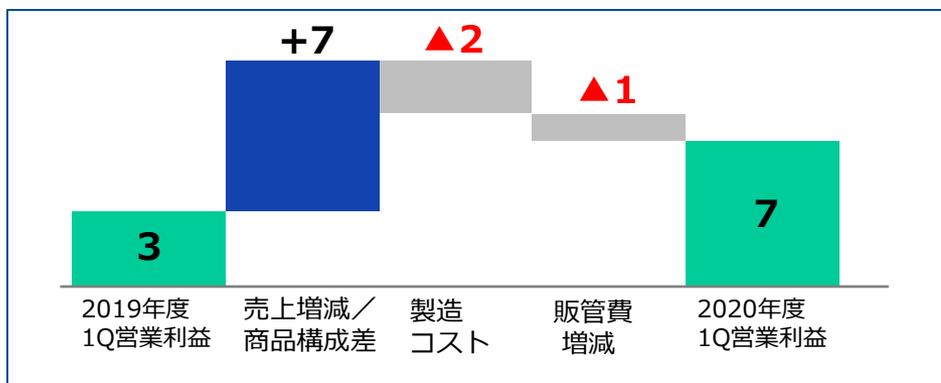
	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	71	84	+13 (+19%)	-	+13 (+19%)
営業利益	3	7	+4 2.3倍	-	+4 2.3倍
営業利益率	4%	8%	+4pt	-	+4pt

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は前年同期比▲24%。
4月、5月を底に6月に入り回復傾向。

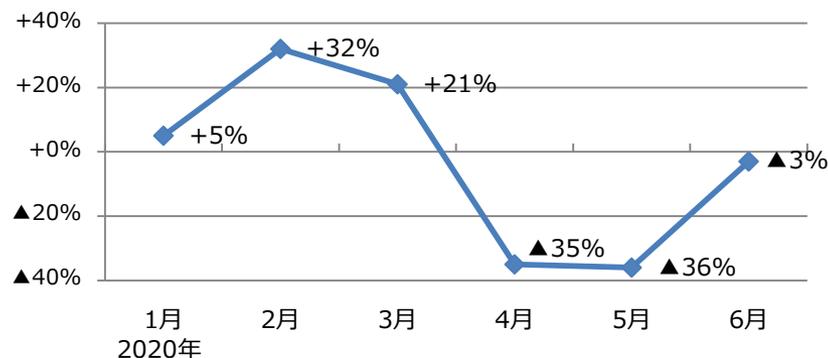
為替レート	2019年度 1Q	2020年度 1Q
1ドル	110.2円	108.9円

営業利益の増減要因

単位：百万ドル



売上高推移（前年比）



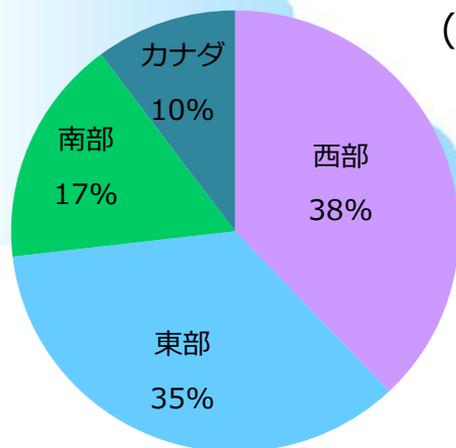
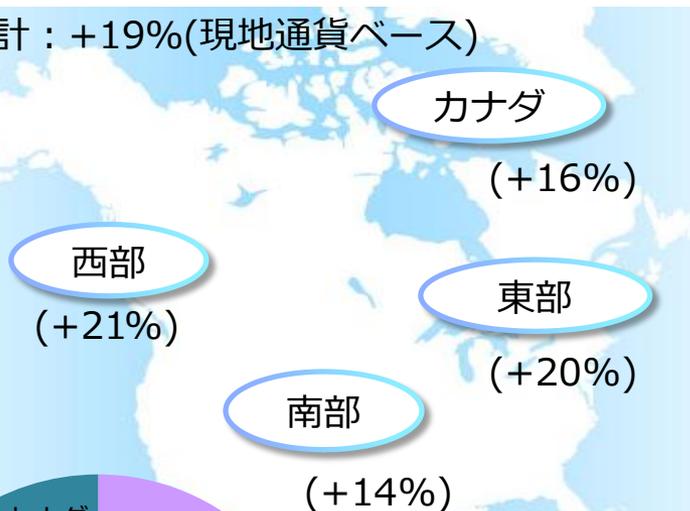
米州の1Q（1月～3月）は新型コロナウイルス感染症の影響は無かった。
ウォシュレットの販売台数大幅増等により増収増益

2021年3月期 第1四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）（1月～3月）

■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+19%(現地通貨ベース)

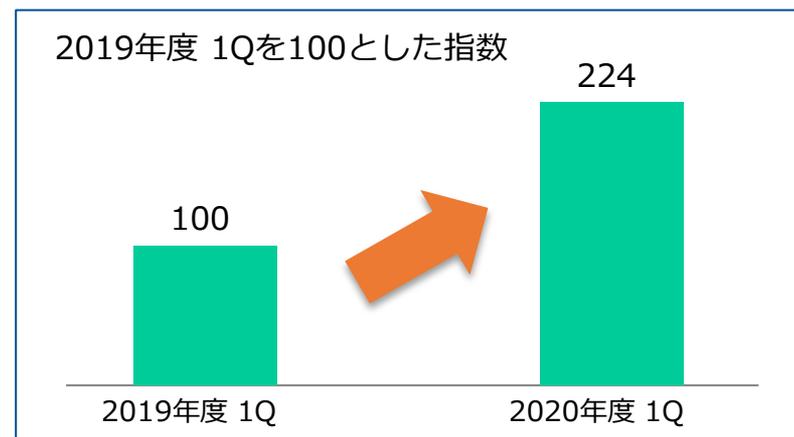


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+7%
ウォシュレット	+66%
水栓金具	+3%

■ ウォシュレットの販売台数伸長



・2Q（4月～6月）は▲9%

全エリア、全商品で前年を上回った。特にウォシュレットは前年比2倍を超える大幅伸長。

2021年3月期 第1四半期決算

現地グループ会社の業績（欧州）（1月～3月）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	8	8	+1 (+8%)	▲0	+1 (+12%)
営業利益	▲2	▲1	+1	▲0	+1

第2四半期(4月～6月)の売上高伸長率は前年同期比▲14%

為替レート	2019年度1Q	2020年度1Q
1ユーロ	125.2円	120.1円

■納入現場事例

The Stafford, London（英国）

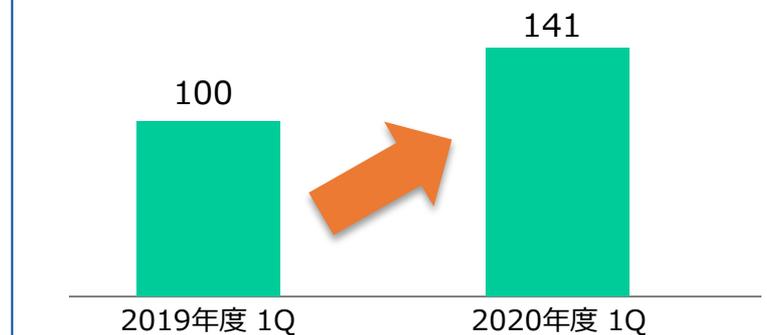


WASHLET RW

ロンドン中心部に位置する、1912年創業の老舗5つ星ホテル客室にウォシュレットが採用された。

■ウォシュレットの販売台数伸長

2019年度1Qを100とした指数



・2Q(4月～6月)は+11%

増収赤字。引き続き流通構築と著名物件採用を推進。

2021年3月期 第1四半期決算

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

セラミック	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 (前年比)
売上高	44	50	+5 (+11%)	-	+5 (+11%)	+5 (+12%)
営業利益	▲3	2	+6	-	+6	+6

環境建材事業

単位：億円

環境建材	2019年度 1Q	2020年度 1Q	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 (前年比)
売上高	17	14	▲3 (▲18%)	▲2	▲1 (▲7%)	▲3 (▲18%)
営業利益	▲2	▲2	▲0	▲1	+0	▲0

セラミック事業は半導体市況の回復と歩留改善により増収黒字化。

目次

1. 2021年3月期 第1四半期決算

2. 2021年3月期 第2四半期累計見通し

**新型コロナウイルス感染症拡大により、
先行きは依然として不透明のため、
第2四半期累計見通しの
売上高・営業利益を開示させていただきます。**

**2021年3月期年間業績及び、配当計画は、
第2四半期決算発表（10月末予定）にお示しします。**

2021年3月期 第2四半期累計見通し

セグメント別業績

単位：億円

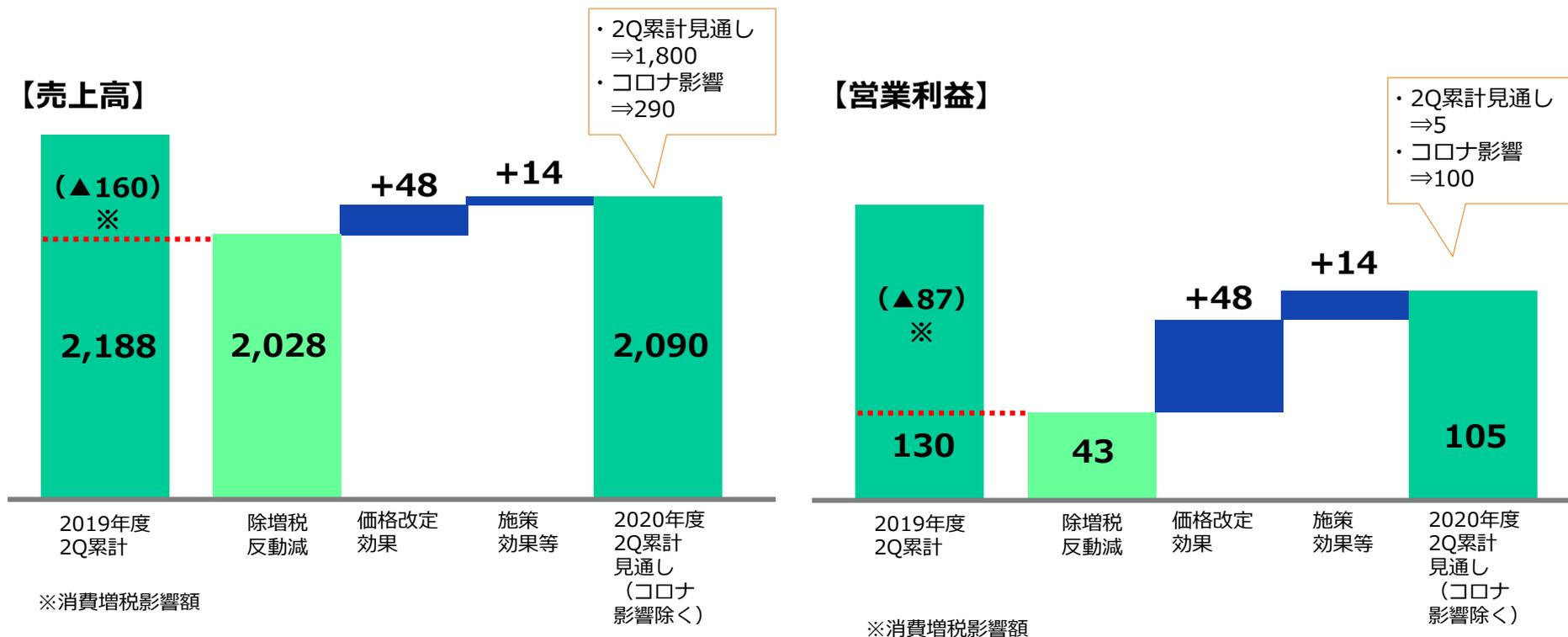
<売上高>	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計見通し	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス 影響額除 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
住設事業 (日本)	2,188	1,800	▲388 (▲18%)	▲290	▲98 (▲4%)	▲388 (▲18%)
住設事業 (海外)	655	575	▲80 (▲12%)	▲120	+40 (+6%)	▲63 (▲10%)
新領域	119	125	+6 (+5%)	▲5	+11 (+9%)	+7 (+6%)
その他	1	0	▲1	0	▲1	▲1
合計	2,963	2,500	▲463 (▲16%)	▲415	▲48 (▲2%)	▲445 (▲15%)

<営業利益>	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計見通し	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス 影響額除 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
住設事業 (日本)	130	5	▲125 (▲96%)	▲100	▲25 (▲19%)	▲125 (▲96%)
住設事業 (海外)	70	70	+0 (+0%)	▲25	+25 (+36%)	+3 (+4%)
新領域	▲8	0	+8	▲2	+10	+8
その他	▲17	▲15	+2	0	+2	+2
合計	175	60	▲115 (▲66%)	▲127	+12 (+7%)	▲112 (▲64%)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減収減益

2021年3月期 第2四半期累計見通し

グローバル住設事業（日本）補足（コロナウイルス影響除く）



前年は消費増税影響に伴う駆込需要があったため、それを考慮すると実質的には売上・営業利益とも向上の見通し。

2021年3月期 第2四半期累計見通し

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	324	267	▲57 (▲18%)	▲60	+3 (+1%)	▲43 (▲13%)
アジア	148	133	▲15 (▲10%)	▲25	+10 (+7%)	▲15 (▲10%)
米州	163	155	▲8 (▲5%)	▲32	+24 (+15%)	▲6 (▲3%)
欧州	20	20	▲0 (▲1%)	▲3	+3 (+14%)	+1 (+3%)
合計	655	575	▲80 (▲12%)	▲120	+40 (+6%)	▲63 (▲10%)
営業利益	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	47	44	▲3 (▲6%)	▲11	+8 (+17%)	▲0 (▲0%)
アジア	22	23	+1 (+2%)	▲8	+9 (+38%)	+0 (+2%)
米州	5	7	+2 (+43%)	▲5	+7 2.6倍	+2 (+47%)
欧州	▲4	▲4	+0	▲1	+1	+0
合計	70	70	+0 (+0%)	▲25	+25 (+36%)	+3 (+4%)

全エリアともに、コロナウイルス影響を除くと増収増益

このプレゼンテーション資料は、2020年7月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO